



県内において、新型コロナウイルス感染者が確認されました。これまで、国・県からの情報提供に基づき、相談窓口の開設や連絡先の周知を図るほか、全国的な感染拡大を受けて本市においても対策本部を設置し、必要な対応を進めてきました。その後、安倍首相の要請により、市主催イベントの中止や延期、小・中学校の臨時休業、公共施設利用の自粛要請などを決定しました。

何かとライブイベントの多いこの時期にこのような決断をすることは、私としても非常に心苦しいところでした。また、これらの自粛ムードは、地場産業はもとより飲食店や宿泊施設などの地域経済へ暗い影を落とし、事態が長期化すれば、さらに大きな影響を及ぼすことが懸念されます。これらは本市のみならず国内外で大きな問題とされ、中にはリーマンショックを超えるのではないかという声さえ聞かれています。感染を広げないために私たちが



もできることは、咳エチケットや手洗いの励行です。特に高齢者や基礎疾患などがある人は重症化のリスクが高くなるため、換気が悪く、大勢が集まる場所をできるだけ避けるように注意してください。

今後とも国や県、関係団体と連携して感染防止対策にしっかりと取り組むとともに、ケーブルテレビや防災ラジオ、さらにはホームページなどを通じて、丁寧にお知らせして参ります。

市民の皆さんには、大変なご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

※咳エチケットや手洗いの注意事項については、広報4月号折り込みをご覧ください。

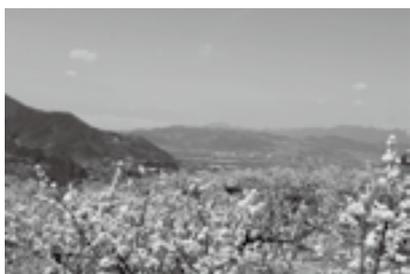
## 里帰りの杏



3～4月にかけて薄紅色の花を咲かせる杏は、宇和島藩伊達家と深いつながりがある果実です。

宇和島藩2代藩主 伊達宗利の長女 豊姫が松代藩主（現：長野県）に嫁いだとき、故郷を偲ぶ品として杏の苗木を持参したとされています。その後、持参した杏の種子が「日本一のあんずの里」となった縁から、本市と更埴市（現：千曲市）が姉妹都市の盟約を結び多彩な交流を続けています。

豊姫が持参した杏は「里帰りの杏」と言われ、



【長野県千曲市】

天赦園や南楽園にも「里帰りの杏」が友好の印として贈られました。

## 里帰りの杏

宇和島信用金庫の企画により、子ども向けに伊達家の物語を伝える絵本が制作されました。その中で、豊姫の物語も描かれています。

宇和島信用金庫ホームページで閲覧できます。

